



愛知県立一宮北高等学校 同窓会

有隣会会報

会長挨拶



有隣会会報発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。会員の皆

様におかれましてはご健勝でご活躍の程お喜び申し上げます。

日頃は有隣会活動に対して、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。

このたび平成28年春の前の名簿発行から間もなく5年が過ぎ、新たに令和3年度版の名簿を発行する運びとなりました。この会報に同封されています「名簿発行のお知らせ」をご覧ください、より正確な名簿作成のため、確認ハガキのご返信にご協力をお願い申し上げます。

さて母校である一宮北高はこの春、43回目の卒業式を終え、卒業生は1万4000名を数えます。そして、4年後の令和6年には創立50周年という大きな節目を迎えます。

開校時から掲げられた「格調ある校風の樹立」「高い理想と絶えざる努力」「形から魂への教育」という教育目標は、一人一人が文字通り絶えざる努力を続け、また先生方の熱心なご指導のもと連綿と引き継がれ今日に至っています。卒業生の一人として嬉しい限りであり

会長 谷川 元康

ます。

この歴史が色褪せぬよう、有隣会として母校に対する支援事業においては学校と共に協議を交えながら積極的に対応して参りたいと思います。

またそれ以外の有隣会の事業活動は毎年夏の総会開催、5年毎の会員名簿及び会報の発行に加えて、昨年より還暦を迎えた会員の同期会開催支援が加わりました。

私は昭和50年の開校と同時に入学した一宮生の一人です。時の流れは早いもので、私たちは昨年還暦を迎え、有隣会からの支援をいただきながら盛大に還暦同期会を開催しました。懐かしい顔が多数集まり、実に楽しい時間を過ごすことができました。

今後、還暦を迎える皆様にも、この感動をぜひ味わっていただきたく考えています。

これらの活動を維持していくためには卒業時にいただく終身会費のみでは、収入が減少していく一方となってしまう恐れがあります。

そこで昨年より広く多くの会員の方々からの寄付金をお願いしています。ぜひご賛同下さいませようお願い申し上げます(詳細は有隣会ホームページをご覧ください)。

最後になりますが、会員の皆様から申し上げますがご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

～ 有隣会ホームページのご案内 ～

有隣会のホームページをリニューアルいたしました。ぜひご覧ください。

一宮北高 有隣会

ホームページURL <http://www.yurinkai.com>





名誉会長挨拶

校長 牧野 文輔



北高を卒業して

卒業生の声



有隣会会員の皆様には各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

本校は、この令和二年度で開校四十六年目を迎えました。この間、本校を取り巻く環境は様々な変化をしてきました。学校運営においても、平成二十二年度から「福祉実践コース」が開設され、さらに平成二十九年度からは「福祉探究コース」も新たに加わりました。これらはいち早くでも普通科の中の「コース」であり、現在は「普通コース」と合わせて三コースを持つ普通科高校となっております。

これら福祉系コースの「福祉」は、「介護」ではなく本来の広い意味での「社会福祉」を指しています。ですから、卒業後は、教育(特別支援教育を含む)、医療、看護、外国語、社会福祉といった系統の大学等に多くの卒業生が進学をしています。近年は、「普通コース」も「理系」へ進む生徒が増加し、二、三年生の理系クラス数も倍増しています。

また、部活動もますます盛況になっていきます。特に陸上競技部は毎年のようにインターハイに出場し、サッカー部、弓道部、剣道部なども、県大会出場の常連校となっております。

す。文化部でも吹奏楽部は、各種コンクールで入賞する一方で、和太鼓部とともに地域の活動などにも積極的に向いて活躍をしています。私自身も北高の第二回生であり、今年還暦を迎えますが、母校で勤務する中で初代校長鬼頭有一先生のことを思い浮かべない日はありません。校長室に掲げてある鬼頭校長先生のお写真に向き合いながら、「こんな時は鬼頭先生ならどんな解決方法を見つけられるだろうか」などと自らに問いかけながら過ごしています。

令和二年度の教育目標と学校運営の方針には、全校生徒と全教職員が一丸となって開校時のような活気あふれる北高を目指していくことを掲げています。一人一人の生徒や職員が、「高い理想と絶えざる努力」を続け、「形から魂の教育」のもとに、「格調ある校風」を作っていくことを改めて決意をしています。そのための本年度のスローガンは、「輝く未来へ、北高リボーン」としています。より具体的な内容については、本校のホームページ上に掲載していますので、ぜひご覧ください。今後とも引き続き現役生へのご支援をお願いします。とともに、有隣会の一層の発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。



私は幼い頃から教師になりたいという夢があり、大学進学を目指して、北高で三年間勉学に励みました。その頃を振り返ると、三年間、同じ担任の先生で、さらに自分の得意な教科である数学の先生でもあってその先生の影響は、私の中では少なからず大きいものでした。授業での説明では、独特の言い回しがあり、今でも忘れられません。数年前、担任の先生を囲んでクラス会がありました。皆四十歳を超え、経験を重ねた様子でしたが、話をしていくうちに高校時代が蘇り、近況報告を楽しく語り合うことができました。

私の近況は、夢が叶って教師となり、学校に勤めています。専門教科は、担任の先生と同じ数学です。現在は、中学校の管理職として、学校運営のマネジメントをしたり、若手教員の指導をしたりしています。現在の学校現場は学び合いなど創意工夫した授業形態や、道徳の教科化など、大きな改革が進められています。北高での学びや経験を生かし、その時代に合った教育活動ができるよう、力量向上を目指して、研鑽を積んでいきたいと思っています。



北高を卒業してもう25年以上過ぎました。楽しかった思い出は

やっぱりヘルスアップデーでしょうか。皆でマスコットを作ったり、勝利のために軍団全員が力を合わせたの応援など貴重な経験でした。また北高の同級生でバンドも組んで、ライブを開いたりしました。北高での3年間はしっかりと「青春」していたなあと今でも思います。私は今、一宮駅の近くで「食彩工房ヴェント」というイタリアンのお店を経営しています。実は北高卒業後、旅行業界に進むつもりで専門学校に通っていましたが、交通事故で断念せざる得なくなってしまう…。その後、縁あって飲食の世界に飛び込みました。パーティーから洋食、和食、イタリアンとさまざまな修行を経て2009年に念願の自分の店を持つことができました。もともと人と話すことが好きで、だから旅行社を目指してのですが、今は料理が大好きになっていきます。特に心を込めた料理をお客さんに「美味しい」と言ってもらえたときは最高ですね。



在学中は柔道部に所属し、毎日厳しい(?)練習に明け暮れていました。

部活で思い出すのは同級生3人で常在戦場(いつでも戦場にいる心構え)で事をなせ(という意味)の精神で「ポイヤ道場」を結成したことです。練習後に当時人気の総合格闘技をまねて関節技などの研究をしていました。また、冬でも半袖・短パンで体育の授業を受ける厳しい掟がありました。何であんなことしていたのかよく分かりませんが、今となってはいい思い出です。現在の私は9年前から中小企業診断士として、製造業を中心に中小企業の社長さんと一緒に経営を考える仕事をしています。創業支援、事業継承支援、事業再生支援を専門にして、各種セミナーの講師を務めたりしています。社長の皆さまさまざまな悩みを一緒に考え、改善し、結果が出た時も一緒に喜び合える、そんな関係を築いていきたいと思っています。

恩師は今…

津田 美次

(英語)



私が一宮北高校に赴任したのは開校2年目の昭和51年春のこと。

赴任して最初に強烈なインパクトを受けたのが「道場箴規」です。私は柔道経験があり(柔道部の顧問もしていました)自分の思いとマッチした道場箴規に深く感銘を受けたことを覚えています。

振り返ってみれば北高には教員・教頭として、20年以上勤務しました。私の教員生活のほぼ半分を北高で過ごしたことになります。退職してもう数年経ちましたが、今でも北高の思い出は霞むことなく鮮明に思い出されます。

そういえば昨春秋、一回生の還暦同期会に招待されました。懐かしい顔と再会できて本当に楽しい時間を過ごせたと思います。

卒業された皆さんは、それぞれの立場・環境の中、精一杯頑張っていることでしょう。そんな中、たまには母校を思い出してもらいたいと思います。人生の原点といたっていいほど北高での3年間は貴重な時間だったはずですから。皆さんの今後のご健勝とご発展をお祈りいたします。

近藤 篤

(国語)



有隣会の皆様が、本年新たに同窓会名簿を上梓されますことを心から

お慶び申し上げます。

私は、昭和52年四月に新任として赴任し、平成4年度までの16年間お世話になりました。教員としての心構え、教科指導・進路指導・生徒指導など、教育の基礎基本はすべて一宮北高校で学んだというのが私の口癖です。

先輩や同僚の先生方から懇切に教えられたことは言うまでもなく、毎年出会う生徒の皆さんからは、人間が成長していくエネルギーの凄まじさ、そしてその素晴らしさを学びました。毎日の授業、部活の練習、行事の中で生徒の皆さんが日々変化していく、ドラマチックな場面に間近に立ち会えたのは、今思えば至福の時でした。感謝あるのみです。

昭和50年に創立した北高は、近々半世紀を迎えようとしています。学校にも宿命というものがあられ、社会の変化にもなう波乱はつきものです。しかし、同窓の皆様が御蔭で、今や北高は確固たる伝統を築きつつあります。同窓会の皆様の御活躍と一宮北高校の発展をお祈り申し上げます。



～ 有隣会からのお知らせ ～

〈 第43回有隣会総会のお知らせ 〉

本年度の総会は令和2年8月23日(日)13:00より一宮北高2階会議室にて行います。

〈 還暦同期会 〉

昨年1回生の皆さんが還暦を迎えたことを契機に「還暦同期会開催支援」が有隣会の活動として加わりました。今年は2回生の皆さんの同期会が開催されます。

●2回生還暦同期会のご案内

- 日時: 令和2年11月14日(土)13:30～16:00
 - 場所: 尾張一宮駅前ビル(i ビル)7階シビックホール
- ※詳細は有隣会ホームページをご覧ください



▲1回生還暦同期会(令和元年11月9日)の様子

〈 有隣会寄付金のお願い 〉

現在の有隣会は、総会の開催(毎年8月)、卒業生名簿の発行(5年ごと)、会報の発行(5年ごと)、還暦を迎えた卒業生の同期会開催支援といった内容を主な活動としています。また、卒業生への記念品授与や在校生の活動支援等も行っています。

これらの活動は、同窓会として卒業時にいただいている終身会費のみで運営されています(年会費等は一切いただいております)。昨今の少子化の影響で毎年の卒業生が減少している現在、このままでは収入が減少していく一方となってしまう恐れがあります。

そこで今後も有隣会活動を継続していくためには、広く多くの方々からの寄付金が必要と考えます。本主旨に対しご高配を賜り、ぜひご賛同下さいますようお願い申し上げます。 ※寄付金の納入方法の詳細は有隣会ホームページをご覧ください

〈 ご注意ください 〉

名簿発行の広告及び賛助金はすべて名簿作成経費に充当されます。有隣会寄付金とは別になります。



北高だより

〈令和元年度部活動実績〉

- 第73回愛知県高等学校総合体育大会尾張支部予選会
- 【陸上競技】
 - 男子総合2位、男子フィールド優勝、男子円盤投2位、やり投優勝4位、砲丸投優勝6位、800m2位、4×400mR4位、棒高跳4位、三段跳5位
 - 女子ハンマー投2位、やり投2位、砲丸投6位、100m5位、800m5位、4×400mR3位、円盤投女子でシード権あり22名県大会出場
 - 【テニス】
 - 女子団体第3位
 - 第3位県大会出場
 - 【サッカー】
 - 男子団体第3位県大会出場、男子個人2名県大会出場
 - 【弓道】
 - 男子個人1名県大会出場
 - 第48回桃花祭弓道大会
 - 男子個人3位
- 第73回愛知県高等学校総合体育大会
 - 陸上競技男子砲丸投2位、やり投3位東海大会出場
 - 一宮市民柔道大会
 - 女子個人3位
 - 第66回東海高等学校総合体育大会
 - 陸上競技男子砲丸投5位、やり投4位全国大会出場
 - 第79回愛知県陸上競技選手権大会
 - 男子砲丸投6位
 - 第30回愛知県高等学校1年生陸上競技大会尾張支部大会
 - 男子三段跳4位5位、4×400m

- mR6位、やり投6位
- 女子ハンマー投3位、やり投4位
- 吹奏楽コンクール西尾張地区大会
 - 金賞県大会出場
- 吹奏楽コンクール県大会
 - 銀賞
- 第66回尾張陸上競技選手権大会
 - 男子800m優勝、やり投2位、女子やり投3位
- 尾張地区高等学校夏季剣道大会
 - 女子優秀選手1名
- 一宮市剣道大会
 - 高校男子団体2位
- 愛知県高等学校新人体育大会尾張支部予選会
 - 【陸上競技】
 - 男子200m6位、800m優勝、1500m5位、棒高跳4位、円盤投6位、ハンマー投4位
 - 女子800m6位、1500m6位、3000m4位、やり投優勝・5位、ハンマー投・女子4×400mRでシード権あり16名県大会出場
 - 【ソフトテニス】
 - 男子シングルス2名県大会出場
 - 【弓道】
 - 男子個人1名、女子個人1名県大会出場
 - 【剣道】
 - 女子個人1名県大会出場
- 尾張地区高等学校ハンドボール大会
 - 2位
- 愛知県高等学校新人体育大会
 - 陸上競技男子800m4位東海大会出場
- 第22回東海高等学校新人陸上選手権大会
 - 男子800m4位
- 第98回全国高等学校サッカー選手権大会尾張予選Eブロック優勝県大会出場

〈進路状況について〉

- 主な進学先(過去5年)
- 【国立大学】
 - 筑波大学、愛知教育大学、岐阜大学、三重大学、山梨大学、山形大学、福井大学、秋田県立大学、長野県立大学、公立鳥取環境大学、公立諏訪東京理科大学、釧路公立大学
- 【私立大学】
 - 帝京大学、立教大学、関西大学、立命館大学、南山大学、名城大学、愛知大学、中京大学、愛知工業大学、名古屋外国語大学、金城学院大学、椋山女学園大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、日本福祉大学、至学館大学、藤田保健衛生大学、名古屋学芸大学、岐阜聖徳学園大学など
- 【短期大学】
 - 岐阜市立女子短期大学、名古屋短期大学、名古屋女子短期大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、至学館大学短期大学部、修文大学短期大学部、愛知医療学院短期大学、愛知江南短期大学など

令和元年度 卒業生の進路状況	
大学進学者	130名
短期大学進学者	20名
看護医療系専門学校等進学者	14名
各種・専修学校進学者	58名
就職者	2名
その他(含・浪人)	9名

平成22年度から「福祉実践コース」、さらに平成29年度からは「福祉探究コース」が開設されました。

【福祉実践コース】

将来、福祉をはじめ、看護、リハビリテーション、幼児教育などさまざまな分野で、リーダーとして活躍できる人材の育成が目標です。多くの校外体験学習やインターンシップ、基礎医学等の講義を取り入れ、理解を深められるキャリア教育支援とともに、上級学校への進学に必要な学力が十分に身につく学習指導を行います。

※このコースは、ソーシャルウェルフェアの実践を目的としています。

【福祉探究コース】

将来、国公立大学を視野に入れた教育学部、特に障がい者教育や特別支援教育で活躍できる人材の育成が目標です。探究学習を通して、チームティーチングや主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業展開を行ってまいります。特に、英語を通して国際機関などの文書や時事的な教材を用いて読解力や表現力を身につけることを目指します。

※このコースは、グローバルウェルフェアの探究を目的としています。



▲福祉実践コース授業風景